

肥田花馬祭りを環とした 地域コミュニティづくり

肥田花馬保存会

事業の目的

土岐市肥田町の伝統行事であった八剣神社の花馬祭りを復興させ、その行事を一つの環とした地域コミュニティづくりを目指す。

そのために肥田町の花馬祭りの歴史を学ぶとともに、その花馬祭りの主役である馬を十分に理解する。

かつての肥田地区で多くの荷馬車が町内を往来していた風景を思い描き、子供からお年寄りまでが馬に親しみ、その世話を出来るようになるプログラムを用意し、肥田町の多くの団体に呼び掛けて勉強会や体験会を実施する。

そして肥田地区のイベントとして子供たちが馬車で通園・通学することを実現するためのさまざまな活動を通じて、地域コミュニティづくりに寄与する。

肥田花馬保存会発足の経緯

- かつての肥田八剣神社秋祭りでは、各町内から飾りつけられた花馬が神社に集まっていた。しかし、最近では、その代わりに神輿が使われるようになっている。
- 一昨年(2018年)6月に神社の宝物庫から和鞍や刺繡入りアオリなどの馬具や装具が見つかり、有志によって60余年ぶりに花馬奉納が行われた。
- 花馬奉納を肥田地区の伝統行事として復興させ、それを地域コミュニティーのひとつの環として、馬と共に暮らす肥田町を目指して、肥田花馬保存会が発足しました。

肥田花馬保存会発足の経緯

- かつての肥田八剣神社秋祭りでは、各町内から飾りつけされた花馬が神社に集まっていた。しかし、最近では、その代わりに神輿が使われるようになっている。
- 一昨年(2018年)6月に神社の宝物庫から和鞍や刺繡入りアオリなどの馬具や装具が見つかり、有志によって60余年ぶりに花馬奉納が行われた。
- 花馬奉納を肥田地区の伝統行事として復興させ、それを地域コミュニティーのひとつの環として、馬と共に暮らす肥田町を目指して、肥田花馬保存会が発足しました。

これまでの主な活動

2019年度

土岐市トキドキトーキンにて発表
肥田公民館まつりで展示
肥田公民館にて活動紹介と花馬飾り作り
八剣神社に花馬奉納

2020年度

社会教育関連団体に登録される
とうしん地域振興協力基金から助成を得る

肥田花馬保存会について

かつての肥田町八剣神社境内には、各町内会がそれぞれ祭り立てた花馬を先駆に神社に奉まっていたのですが、現在は、お神輿がその代わりに祀られています。御事、神社の室施設から移や開闢入りアオリの黒馬などが見つかり、それを祀った花馬が60年ぶりに奉納されました。そこで、花馬奉納を記念地図の伝統行事として復活させ、馬と和らす肥田町を目指して、肥田花馬保存会が発足しました。

これまでの主な活動（2018年）

宝物箱より祭りの馬具、町入りのおおりが見かり、その獲得作業を実施しました。

八剣神社の境内の馬具で花馬用のオマントップ作成と飾り付けの道具一式を購入しました。

八剣神社の境内の馬具の帽子（2018年10月作成）

子供たちが馬に触れて大喜び、お年寄りからは馬具も花馬をやってくれるよねと言われ、肥田花馬保存会をつくることになりました

これからの活動計画

町内会区に尉ける馬具各種の展示

馬の育成における馬の種類別の問題

オマントップお渡し会の花馬の點付け

祝のする馬具や飾り、角突きアオリの準備

馬の点付けができる人材育成

肥田花馬保存会は、その文化や区内を学んでしまもなく正確に馬を点出し、貴重な基準を知める予定です

連絡代表 川島和哉
連絡先：携帯電話：09036239111
メール：kanjew21@gmail.com

土岐市トキドキトーキンに参加した際の配布資料（2019年9月8日）



八剣神社宝物庫の全容



花馬用の和鞍と飾り用の木箱



馬装された和鞍





八剣神社秋祭りの花馬奉納図 (2018年10月7日)



飾り付けを終えたピグミン号



神輿の先頭を行く花馬



肥田花馬保存会発足のきっかけ



子供たちは馬にニンジンをあげたり触わって大喜び、お年寄りからは来年も花馬をやってくれるよねと言われ、**肥田花馬保存会**を作つて準備することになりました。

2019秋祭り 花馬飾付け作業中



新しい花馬飾りで神社を目指す



新調した法被を着て神社を目指す





巫女さんたちにも大人気のピグミン号です



肥田地区の馬の飼育状況調査

肥田地区では美濃焼の製品を駅まで送る馬車馬が沢山飼われていました。しかし、その実際の頭数やその飼育方法や荷馬車用の道具や調教方法などの資料が残っていないため、聞き取り調査をおこないます。

東濃地方で美濃焼の器を運んでいた馬車



馬の世話ができる人材養成

坂下神社の花馬保存会は、花馬祭りのために木曽馬2頭を中津川のふれあい牧場に預託しています。

本保存会は自分たちで馬を飼うこと将来自目標に掲げており、そのために、馬と親しむ機会を設けながら、馬の世話をするために必要な基礎知識を学ぶための学習会と体験会を開催していきます。

ウマとヒトとの相互グルーミング



この写真はウマがヒトにかみついているではありません！
お互いにマッサージしている親しい関係を示す行動です。